

昨年10月から、ごみの分別方法が4分別(可燃、不燃、かん・びん、大型)から、ペットボトル、その他プラスチックを加えた6分別に変わりました。これに伴い、『家庭ごみの分け方・出し方』を市内全世帯に配布し、説明会に出られなかった市民のみなさんにも正しい分別をお知らせしたところです。しかし、まだペットボトルやその他のプラスチックの分別で間違っただけが多くあります。今回は、正しい出し方をあらためてお知らせしながら、収集した資源物の再生過程をお知らせします。

見落とさないでこのマーク ごみは再資源化されています

間違っただけは 再資源化を妨げます

ペットボトル編

ペットボトルの指定袋は、緑色で半透明の袋です。収集の際、職員が見ただけで分かる間違いが、「キャップがついたまま」「ラベルが貼られたまま」のボトルです。(写真①)

識別マークによると、ペットボトルは本体のみで、ラベルとキャップは、プラマーク(♻️)の他のプラスチックに分別がついています。また中身が残ったまま汚れているものは資源化を妨げます。

その他プラスチック編

その他プラスチックの指定袋は無色半透明の袋です。プラマークの入った資源ごみ用の袋です。キレイなものしか再資源化できないので、汚れを落としてから分別してください。この分別が多いのが、プラマークの付いていないものの混入です。よく、大きなプラスチック製品(洗面器やプランターなど)が入っていることがあります。これは間違っただけです(写真②)。プラマークの付いていないプラスチック製品は可燃ごみです。

また、お菓子などの商品が入ったままの袋や、その他プラスチック以外の物が入っているものも多

くあります。再生に必要な「キレイ」が守られていないものは、分別を妨げます。一度軽く洗って、汚れを洗い流し、水を軽く切って、指定袋に入れましょう。どうしても汚れる取れないものは、可燃ごみとして出してください。



▲間違っただけの出し方～キャップ、ラベルが付いたままになっている



▲間違っただけの出し方～プラマークのないものが「その他プラスチック」に混入している

容器包装リサイクル法

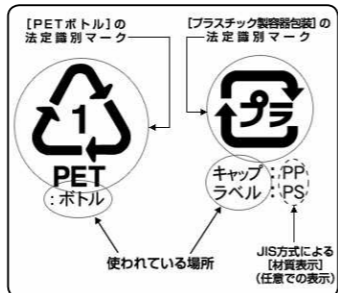
田川市では、今年4月から、その他プラスチックを、環境省が指定する法人(容器包装リサイクル協会。以下「容リ協」)に委託して処理しています。

市で収集したその他プラスチックは、まず保管施設で容リ協の受け入れ条件に沿って処理されます。その後、容リ協に引き渡され、容リ協から委託を受けた再商品化事業者が、再資源化処理をしています。

容器包装リサイクル法は、ごみをなるべく出さないようにし、出すときは、資源になるごみを資源にできるように分けて出すことを求めています。

市では、皆さんが出したごみを収集したのち、さらに選別して、再商品化できるものは法律の指定するルートで処理しています。

識別マークの見方



田川市での 再資源化の流れ

市民のみなさんから、収集した資源物の行方について問い合わせが頻繁にあります。市では、委託先の再商品化事業者に対して、再商品化の割合が高くなるよう指導しています。

再資源化は次のように行われています。

①家庭で分別

6分別により、まず資源になるものと、ならないものが分別されます。汚れがとれないものは、資源にはなりません。

②収集して混入物を除去

分別して出されたものを収集し

ます。職員が集積所で分別されているかどうかを確認します。分別されていない指定袋は収集せず、ステッカーを貼って再度分別をお願いしています。



▲混入物が除去される資源ごみ(市内工場にて)

③事業者が再商品化

保管された資源ごみは、容リ協が契約した再商品化事業者が引き取り、工場での再商品化します。今年度は、市内の事業者が容リ協と契約し、その他プラスチックを再商品化しています。

事業者は、受け入れた資源物を、再商品化するものと、セメント原料などにするものに選別します。再商品化するものは、破碎、洗浄、融解し、最後に細かい粒(ペレット)にして、再商品化原料になります。また、セメント工場で、まずキルン(セメントを焼成する高熱炉)の熱源として燃焼させ、灰をエコセメントの原料として利用します。

調味料などの容器が ペットボトルに

材質がペットボトルのものでも、これまでプラマークが入っていたものがありませんが、今年4月からペットボトルに分別が変わったものがあります。

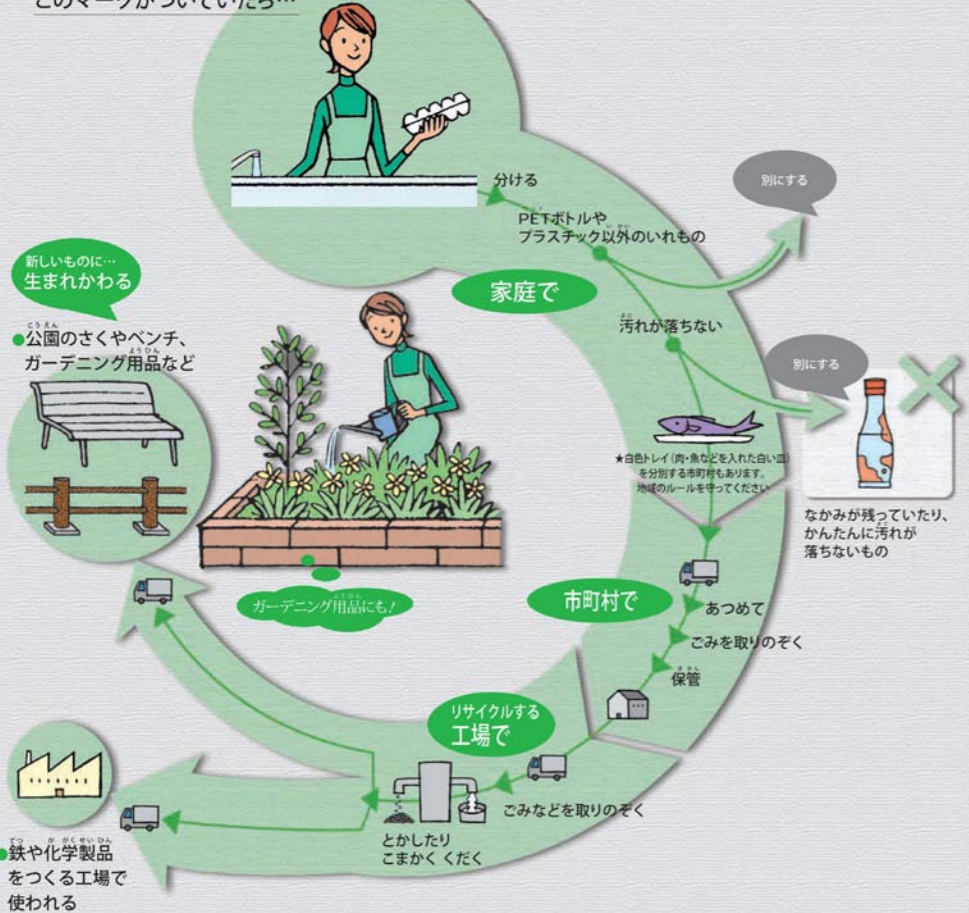
地球に最もやさしい ごみ対策は

ごみの再資源化にもエネルギーを消費します。地球にやさしいごみ対策は、ごみを作らないことです。最近、大手スーパーでは、レジ袋の有料化、エコバックの販売を始めたところもあります。みなさんも、ごみを作らない生活にチャレンジしましょう。

プラスチック 再生の旅



このマークがついていたら...



専門団体:プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 <http://www.pprc.gr.jp/>